



HANA 奥武蔵の花

施設隣接型小中一貫校 奥武蔵創造学園

飯能市立奥武蔵中学校
学校だより 第12号

令和5年2月1日
校長 安田 孝之

いまが、我慢のとき。

寒さ厳しい折、陽射しの温かさが何よりのごほうびと感じさせられます。朝日の昇る時間が、日毎に早まるのを感じつつ、春の訪れが待ち遠しいです。

三年生は、高校受験で自分自身の力量を初めて試される経験をする生徒もいるのではないのでしょうか。確かに、部活動や日常の学習を通じて自分の力を試す機会がありますが、人生の分岐点などと例えられる高校への進路選択は、多くのことを経験し、また人生を学ぶ機会ととらえています。

さて、入試に限らず、このような選抜及び選考試験を人は人生の中でどれほど経験するものなのでしょうか。私自身のことを振り返ると、今日までに10回位を数えます。例えば、転職をすればそういった機会を経験するでしょうし、昇進のためにこのような試験を経験することもあります。人生では、こういった機会があることは必然として捉えざるを得ないし、これが嫌ならば敬遠することを選んで生きる方法もあるでしょう。しかし、自分の好きなこと、また望むことを行うためには避けることはできません。資格や認定試験などはこれに類するものでしょう。つまり、生きていく中で、自分自身の力量を試される



HANAことば

毎日、おいしくいただいている学校給食。栄養バランスが考えられていて、しかもおいしい。学校給食のありがたさを実感したのは、学校現場を離れて勤務した時期でした。この学校給食。物価高騰の煽りを受けて、献立を作る江平栄養教諭も大変苦労されています。事務の安田さんも給食会計の管理に余念がありません。

また、これを作る調理員のみなさん。早出の方は、外が真っ暗な朝の6時に調理場の火を入れると聞きます。冷たい水での食材洗浄。冬の寒さと水の冷たさに向き合い、夏は暑さ対策をしながら安全な食事を提供してくださっています。小規模校ならではの手作りデザートは逸品です。チーム奥武蔵の象徴のような給食は、学園自慢のひとつです。

ことは、少なからず避けることができないのです。中学生にとっては、いまのこの機会がとても理不尽に感じることもかもしれませんが、これからの長い人生で避けて通れないことのひとつであることを理解して欲しいです。

親心としては、我が子が少しでも苦労をしないで人生を歩んで欲しいと願うのは当然です。しかし、自分自身の力を試す機会を得ずして、人の成長は見込めないところはあると思います。良いことも、嫌なことも全部ひっくるめて人生と言った人もいます。生徒諸君！苦しいのは君だけではない。君たちの親も私達もみんな歩んできた道なのだから。今が我慢のときだ。